

# J-オイルミルズの事業とESG経営

当社は、これまで培った有形・無形の資産や当社独自の強みを活かし、SDGsで挙げられている様々な社会課題に対して、事業を通じて課題解決に貢献し、さらには新たな価値を提供することで当社も成長を目指すCSV経営を推進し、SDGs達成に積極的に貢献していく考えです。国際社会の成長とともに増大するリスクへの対応・適応力を強化するため、バリューチェーン全体でマテリアリティ(重要課題)に取り組み、事業活動による負の影響を最小化するESGに配慮した経営を推し進めていきます。



## 商品

### 油脂

大豆油、菜種油は食用油として販売



### 油糧

搾り粕は大豆ミール、  
菜種ミールとして販売



## 物流



## 販売先

### 業務用

- 外食・中食のお客様へ
- 加工用
  - 加工食品メーカーへ(マヨネーズ、マーガリンなどの原料として)
- 家庭用
  - 量販店、小売店などへ

飼料・肥料メーカーへ  
醸造メーカーへ



▶ 畜産農家からの配合飼料需要減、  
それによるミール需要減の可能性 ▶▶ 需要減への  
対応の必要性

食肉需要増大 ▶▶ 飼料原料としてのミール需要増

- 食の安心・安全 ● 安定供給
- 社会課題の解決に資する商品の開発

- 社会課題の解決に貢献する製品の提供・開発
- 持続可能な資源利用

- 人手不足
- 物流コストの上昇
- 環境規制

- 物流の効率化
- 輸送にかかわる  
環境負荷・  
汚染の低減

- 少子高齢化／成熟市場
- 競争の激化
- 低価格志向
- TPPの影響

- 商品に関する適切な情報の提供

- 顧客満足の追求

- 健康経営の推進 ● コーポレート・ガバナンスの強化 ● リスクマネジメント強化とコンプライアンスの推進